

人の表現・暮らしの表現

蘭島閣美術館 所蔵品展Ⅲ

画家が人物を描くとき、モデルのしぐさや姿の描写、人物の存在感を表現するための空間表現のみならず、人間の内面世界や心象風景をも追及する姿勢がうかがえます。また、画家自身を取り巻く環境が絵に反映されることもあり、作品の題材として人物画は、最も魅力的なテーマの一つであるといえるでしょう。

本展では、旅先で出会った人、戦時を生きる人々など国も時代も違う人物を描いた作品や、女性の中にある美しさを探り、女性の内面を表現した女性像などさまざまな人物画のほか、画家が心に留めた美しい風景を描いた作品を、日本画、洋画などから幅広くご紹介します。



1



2



3



4

特集展示 江戸の人々の暮らし

～所蔵の浮世絵から～

江戸を生きる人々の暮らしや楽しみを描いた浮世絵。安くて美しく、江戸中の人々が買ったと言われていました。江戸の人々の最大の娯楽であった歌舞伎の役者を描いた役者絵と、著名な江戸の料理屋を描いた「東都高名会席尽」から、江戸の名物料理など江戸の人々の暮らしを紹介합니다。

- 1/田淵俊夫「歴」1987(昭和62)年 紙本彩色
- 2/林功「猿と少年」1991(平成3)年 絹本彩色
- 3/野田弘志「THE 3」1998(平成10)年 キャンバス・油彩
- 4/三代歌川豊国
(左)「三代目岩井兼三郎の腰元おかる」
(右)「初代河原崎権十郎の早野勘平」
1859(安政6)年

文化施設のご案内

- ◆三之瀬御本陣芸術文化館 7/30(土)～9/26(月)
特別展『グリコ展 須田国太郎の愛したグリコのおもちゃ』
- ◆蘭島閣美術館別館 7/6(水)～10/10(月・祝)
『寺内萬治郎と同時代の作家たち』
- ◆松濤園 9/7(水)～11/28(月)
『朝鮮通信使—ユネスコ「世界の記憶」登録から5周年—』
『The Journey of IMARI～旅する伊万里～』

臨時休館のお知らせ

展示替え作業のため、10/26(水)～10/28(金)まで休館します。

次回 秋季特別展のお知らせ

10/29(土)～12/19(月)

「奇跡の立体切り絵 SouMaの唯一無二の世界」

アクセス方法

マイカー

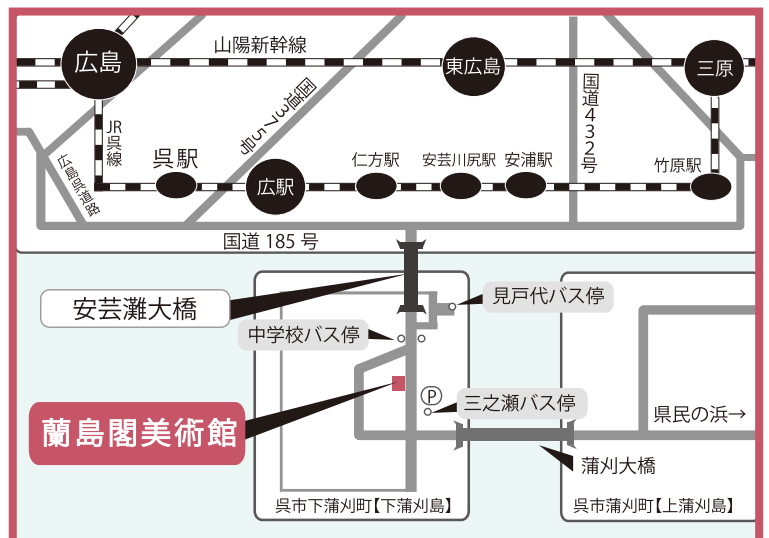
■広島市内から車で約1時間
呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡った最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場より徒歩260m。

電車とバス

■呉市内から電車・バス利用の場合
JR呉線で広駅または仁方駅で下車。駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交運行のバス「田戸・大浦・宮農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。美術館まで300m。

バス

■広島市内からバス利用の場合
広島バスセンターからさんようバス運行の「蒲刈・豊浜・豊」行きに乗車。下蒲刈町内の「見戸代棧橋」停留所で接続する後続バスに乗り換え。「三之瀬」停留所下車。美術館まで徒歩300m。
(バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 TEL 0823-70-7051)



※新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止のため、今後開催を予定している展覧会が変更となる場合があります。最新情報は当館のHPでご確認いただくか、当館までお問合せ下さい。